

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： Plant Twin： 育種・栽培のための植物仮想化
2. 研究代表者： 大倉 史生（大阪大学 大学院情報科学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、特にコンピュータビジョンに関する技術要素に着目し、植物を撮影した画像群から、その形状のみならず、枝葉構造、時系列変化などを、遮蔽領域も含めて再現を目指すものである。フェーズ1では、画像からの植物構造取得のためのコア技術の開発にほぼ成功している。植物科学、農学との共同研究を新たに開始している。また植物三次元復元のサーベイ論文を発表し、注目されている。フェーズ2では、要素技術の開発はやや勢いに欠けると感じるが、応用研究の目標は具体化されつつあり、今後の発展に期待する。

以上